
俺の世界

田中君

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

俺の世界

【Nコード】

N6099Z

【作者名】

田中君

【あらすじ】

普通から不幸への転換

ある時少年は能力に目覚めた

「不幸」の始まり

俺は「普通」になりたかった。

ある日俺「伊能深夜」（いのうしんや）はコンビニに向かって歩いていて

辺りはすでに暗くなり、セミも鳴き止み始めたその時、俺は自分の異能に気が付いた。

その異能とは…

「パラレルワールド」

が見えると言うものだ。

簡単に言うなら自分の

未来が何通りも見えることだ。これは深夜にとっては願ってもない能力だ、なぜなら深夜は「普通」になりたいからだ。

この能力さえあれば面倒な事を避けることが出来るだから「パラレルワールド」は最高の能力…

だと思っていた。

2日後

深夜は自分のこれからの人生に「普通」がないことに気が付いた。

コンビニに行けば強盗に出くわす、学校では痴漢に間違われる、最後には

殺人犯に命を狙われる

今まで以上に不良に絡まれる能力を得てから不幸なことが増えた…

「パラレルワールド」を手に入れたから不幸になった。こつ考える
しかない。

これが「不幸」の始まり

夏の驚き(前書き)

能力のことを知っている仲間と出会い物語は始まる

夏の驚き

中学1年の夏に目覚めた能力のせいではなかないことが無いまま、成績も悪くなり遂に最低クラスになってしまった深夜

(ここ高嶺私立中学は学力のいい順にA、B、Cと分けられ最低クラスをカスという、成績に応じて設備が変わる学校である)

最低クラスに落ちた深夜はそこで信じられないものを目にする。

「何だ…何でみんな能力が使えるんだ？」

そう最低クラスの全員が能力を使えそして使えるようになったのがみんな同じ8月25日午後12時みんながそこから不幸になり昨日全員が最低クラスになったのだ。

彼らは自分たちを天幸とよびそれぞれの能力を使いこなしていた。

そしてその中に見知ったやつがいた。

「何でお前がいるんだ」

そこには成績トップ(だった)大野信太郎がいた

「何でって、お前と同じように能力を得て不幸になり…ここに居るわけだよ」

「そうか…お前はどんな能力が使えるんだ？」

「俺は運動神経が神的によくなるんだ」

「お前運動神経悪かったのにな…もしかして自分にとって、最も欲

してあるものがここに居る全員が手に入れたのか！」

「そうかもな…しかしそのせいで不幸になりこんな世間からはただのカスに見える集団になつたわけだ」

いつの間にかみんなが俺の話を聞いていた

「久しぶり深夜」

誰かと振り返るとそこには少1からの美少女？

坂田俊明がそこにいた。

「久しぶりじゃないかトシ、ここに居るってことはトシも能力を手に入れたのか？」

「まあね僕のは時間を30秒止めることができるんだ」

「そうか」

「とりあえずみんなで能力のことを調べていくしかないな」

つづく

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6099z/>

俺の世界

2011年12月20日23時52分発行